

シリーズ～チェンジ～

2016/8/14

絶体絶命

ヒゼキヤ王登場

- 危機的状況にあった南ユダ王国
 - アッシリア帝国の脅威
 - アハズ王の悪政(異教礼拝・神殿祭儀の崩壊)
 - アッシリアに恭順の意を表すため,その神々の祭壇をエルサレム神殿の中に築き,礼拝した!
- 現れた救世主,ヒゼキヤ
 - 希に見る善王
 - 彼はイスラエルの神、主に信頼していた。彼のあとにも彼の先にも、ユダの王たちの中で、彼ほどの者はだれもいなかった。列王記下18:5
 - アッシリアにも屈しない
 - 彼はアッシリヤの王に反逆し、彼に仕えなかった。18:7

ヒゼキヤの宗教改革(歴代誌下29~31章)

•エルサレム神殿の聖別(29章)

- 祭司たちが主の宮の中にはいて、これをきよめ、主の本堂にあった汚れたものをみな、主の宮の庭に出すと、レビ人が受け取って外に持ち出し、キデロン川へ持って行った。29:16

•過越の祭りの復活(30章)

- さて、ヒゼキヤは全イスラエルとユダに使いを遣わし、またエフライムとマナセに手紙を書いて、エルサレムにある主の宮に来て、イスラエルの神、主に過越のいけにえをささげるよう呼びかけた。30:1

•異教の排除(31章)

- そこにいた全イスラエルは、ユダの町々に出て行き、石の柱を打ちこわし、アシェラ像を切り落とし、全ユダとベニヤミンの中から、エフライムとマナセの中から、高き所と祭壇を取りこわして、絶ち滅ぼした。31:1

ヒゼキヤ絶体絶命①

•滅ばされた北イスラエル王国

- ヒゼキヤの第六年、イスラエルの王ホセアの第九年に、サマリヤは攻め取られた。アッシリヤの王はイスラエル人をアッシリヤに捕え移し、彼らを…メディヤの町々に連れて行った。 列王記下18:10-11

•攻め込んできたアッシリア

- ヒゼキヤ王の第14年に、アッシリヤの王セナケリブが、ユダのすべての城壁のある町々を攻めて、これを取った。13

•ヒゼキヤ、アッシリアに貢ぎ物をおくる

- 「私は罪を犯しました。私のところから引き揚げてください。あなたが私に課せられるものは何でも負いますから。」14
- ヒゼキヤは、ユダの王が金を張りつけた主の本堂のとびらと柱から金をはぎ取り、これをアッシリヤの王に渡した。16

ヒゼキヤ絶体絶命①つづき

•アッシリアの使者の脅し

- 「ユダの王ヒゼキヤにこう伝えよ。『おまえの信頼するおまえの神にごまかされるな。おまえは、エルサレムはアッシリヤの王の手に渡されないと言っている。』19:10

•ヒゼキヤ,主の宮で祈る

- ヒゼキヤは、使者の手からその手紙を受け取り、それを読み、主の宮に上って行って、それを主の前に広げた。ヒゼキヤは主の前で祈って言った。…「私たちの神、主よ。どうか今、私たちを彼の手から救ってください。そうすれば、地のすべての王国は、主よ、あなただけが神であることを知りましょう。」19:14～

•主の救い

- その夜、主の使いが出て行って、アッシリヤの陣営で、十八万五千人を打ち殺した。人々が翌朝早く起きて見ると、なんと、彼らはみな、死体となっていた。19:35

ヒゼキヤ絶体絶命②

• 死を宣告されたヒゼキヤ

- そのころ、ヒゼキヤは病気になって死にかかっていた。そこへ、アモツの子、預言者イザヤが来て、彼に言った。「主はこう仰せられます。『あなたの家を整理せよ。あなたは死ぬ。直らない。』」20:1

• ヒゼキヤ、涙の祈り

- そこでヒゼキヤは顔を壁に向けて、主に祈って、言った。「ああ、主よ。どうか思い出してください。私が、まことを尽くし、全き心をもって、あなたの御前に歩み、あなたがよいと見られることを行なってきたことを。」こうして、ヒゼキヤは大声で泣いた。20:2-3

• 答えられた祈り

- わたしの民の君主ヒゼキヤに告げよ。あなたの父ダビデの神、主は、こう仰せられる。『わたしはあなたの祈りを聞いた。あなたの涙も見た。見よ。わたしはあなたをいやす。』20:5

祈りによるチェンジ

- 祈れる環境を整えておく
 - 祈りの場をもつ
 - 普段から主と親しく交わる
 - 祈りが「反省」から始まらないように!
- 問題を主の前に「広げ」て祈る
 - 主はすべてご存じだが…
- 主の栄光を求める
 - 自分のためではなく、主のために祈る
- 心を注ぎだして祈る
 - 主は私たちの涙を見ておられる